



神奈川歯科大学附属病院 ニュースレター

2020年9月1日発行 創刊号

ご挨拶 発刊にあたり

病院長 井野 智

本年4月より病院長を拝命した井野 智です。2020年度は、世界的なCOVID-19感染拡大下にスタートし、医療資源の不足の渦中で感染防止対策の強化、緊急事態宣言下での診療体制縮小など、未曾有の事態となり、ご挨拶が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

さて当院は、私が生まれる前年、東京オリンピックの開催された年（1964年）の4月に開院し、以来、昭和・平成と半世紀以上にわたって地域医療機関として、本学の臨床教育機関として、その役割を担ってきました。現在の附属病院は、2017年11月、本学キャンパス・三笠公園地区の稲岡町から国道16号沿線の小川町へと移転・開設し、早3年が過ぎようとしています。前任の小林優病院長の構想の下、地上12階建て旧附属病院の約2倍の延べ床面積を有します。最新の検査機器（MRI、80列CT、上下消化器内視鏡、ファイブスキャン等）を揃えて新たに設置した画像診断科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、認知症・高齢者総合内科、腎臓内科など口腔疾患とのかかわりが注目されている医科を充実させて、企業健診や人間ドックなどを通じて、歯科診療科目と連携した医療体制を構築しているところです。

この度、ご支援いただいている地域医療機関様との連携を更に深めていく上で、本院の情報発信媒体として、本レターを創刊させていただくこととなりました。今後共、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



【略 歴】 東京都三鷹市出身（市内在住）

- 1993年3月 神奈川歯科大学大学院修了 博士（歯学）（補綴：総義歯学）
- 1993年4月 補綴学第3講座 助手（～2003年10月）
- 1997年8月 長期海外派遣研究員：ドイツ・ミュンヘン大学歯学部（～1998年8月）
- 2003年11月 歯科補綴学講座 講師（～2008年3月）
- 2006年4月 附属病院・総医局長（～2010年3月）
- 2008年4月 有床義歯補綴学分野 准教授（～2012年3月）
- 2010年4月 附属病院 副院長（～2012年3月）
- 2012年4月 横浜研修センター・横浜クリニック 院長（～2020年3月）
学校法人神奈川歯科大学 理事（～現在に至る）
- 2013年4月 学校法人神奈川歯科大学評議員（～現在に至る）
- 2017年10月 高度先進口腔医学講座 補綴領域教授（～現在に至る）
- 2020年4月 附属病院 病院長（～現在に至る）

病院運営委員会メンバーの紹介

副病院長（医科・安全担当）

池上 匡



『歯科大病院に行ったら、たまたま医科があったから』ではなく、『医科を受診したいので、ぜひ歯科大病院に行きたい』と患者さんに思っただけの病院を目指します。その目標を達成するため、オンリーワンの医療をご提供できるように努力しています。糖尿病、高血圧・腎臓、消化器・肝臓、認知症、全身の画像診断を中心に5人の常勤専門医が診療をし、検査機器等もそろっていますので、気になる症状がありましたら御連絡下さい。

副院長（歯科・研修担当）

木本克彦



この度、歯科・研修担当を拝命しました木本克彦です。歯科部門は、病院の2F・3Fを中心とした総合歯科・先進歯科医療センターを担当しますが、これまでの各診療科の問題点を抽出しながら包括的な診療体制を構築したいと考えております。また、研修歯科医については、引き続き基本的な診療技術の習得と一口腔単位の研修を実践していきます。今後とも皆様のご協力を承りますよう宜しくお願い申し上げます。

副病院長（臨床教育担当）

木本茂成



当院は教育病院として役割を担っており、全国の大学歯学部で実施される知識・態度・技能の3領域を評価する「共用試験」に合格して“Student Dentist”の称号を授与された歯学部5、6年生が日々臨床の現場で学んでいます。歯科医師を目指す歯学部学生に加えて歯科衛生学科の学生も実習を行っており、患者様に触れながら学ぶ学生の指導につきまして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総医局長

鈴木健司



横須賀市の高齢化率は全国平均より高く、本院の歯科を受診される患者様におかれましても、全身的なご病気をお持ちの方が大変多くなっております。大学病院として高度な医療を提供するニーズもございしますが、何より安全第一で、患者様が安心して医療を受けられる病院であり続けるよう、病院スタッフ一同励んでおります。

総看護師長
山本 潤



2012年に認定看護管理者資格を取得しその2年後に本学附属病院に入職いたしました。現在の新病院に移転し早3年。「口腔から全身へ」「全身から口腔へ」の看護をモットーに10年先の医療と看護を見据え1.看護体制の変革を行うこと。2.近隣医療関係の皆様方からのご指導ご鞭撻をいただき、地域医療の充実と患者様の満足に少しでもお役に立てること。この2つを目標に尽力いたします。

院務部 部長
江口浩道



本年7月より院務部部長を拝命した江口浩道です。本学附属病院は、開院以来約60年の歴史がありますが、現在の小川町に移転・開設し、間もなく3年を迎えます。心地良い海風の吹き抜けるこの地で更に多くの患者様に愛され、地域に貢献できる病院となるよう「和顔愛語」の精神で最善を尽くしてまいります。

院務部 課長
金井重興



本年7月に、横浜クリニックより附属病院へ異動となりました。地元である横須賀へ戻り、企業健診から人間ドックまで、歯科・医科併設の附属病院として、地域に貢献できる取り組みを積極的に行って参りたいと思っております。

◎ 自費で PCR 検査ができるようになりました

「With コロナ」

生活様式や働き方が変わる中、自分はコロナに対する抗体を持っているのではないか。家族や職場、学校などで人にうつしてしまうのではないかとご心配されている方々は多いことかと思えます。

しかし、PCR 検査を受けたいが、発熱症状などがないと医療機関ではなかなか検査を受けることが出来ません。そこで、当院では自費で PCR 検査を受けることが出来るようになりました。ご心配な方や、学校、職場などで陰性証明が必要などのご要望にあわせて以下の通り実施いたします。

受診方法は以下の通りです。

- 検査をご希望の場合は事前に以下まで予約をお願いします。

予約受付電話番号：内科外来 046-822-8896

- 検査費用 自費 26,700 円 (税込) 検査証明書 3,300 円 (税込)
- PCR 検査 (唾液採取法) - 図 1 のカートリッジに唾液を 2 ml 採取します
- 検査結果の通知方法 受診から 2 日目以降に電話で連絡。検査結果表の写し (無料) あるいは当院発行の検査証明書 (有料 3,300 円) を後日郵送します
- 検査時の注意事項は、検査 1 時間前から飲食・歯磨き・喫煙・口紅は控えてください。

* 本院の人間ドックを受診される方は PCR 検査を検査オプションとして追加することができます。
検査追加料金：15,000 円 (税込)



図 1



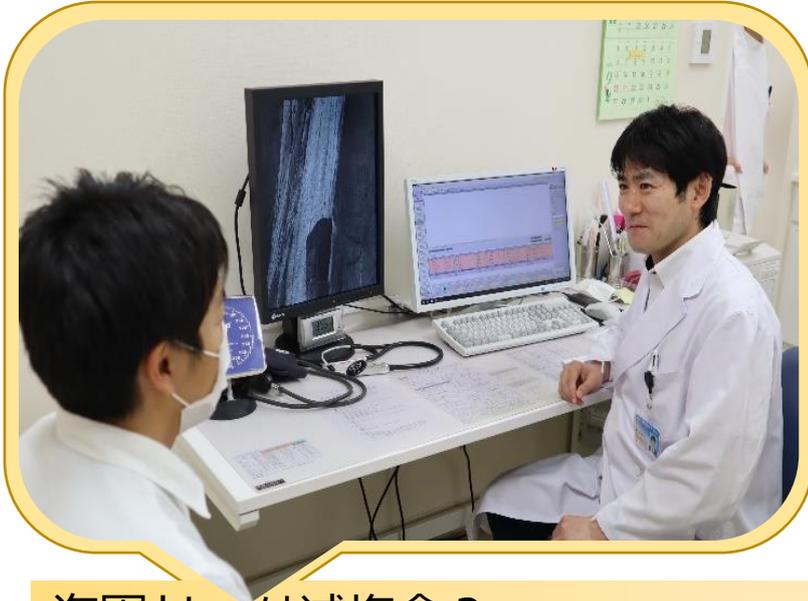
当院の PPE (個人用防護具) について

新型コロナウイルス感染症における、医療従事者の感染率について調査したところ (ソフトバンク調査・日経メディカル)、歯科の医療従事者の感染リスクは予想より低い数値が報告されました。現在のところ歯科医療施設でクラスター感染した例はほとんど報告されていません。その理由として歯科の診療では厳密な感染管理が確立されているのではないかと考えられます。当院においても 8 月現在で**院内感染は 0 人**です。先日、院内の医師・歯科医師及びコメディカルスタッフに対して行った PCR 検査でも全て陰性でした。

当院の外来における感染対策

- スタッフ全員が必ずマスクを着用し、手指消毒を徹底しています。
(必要に応じてフェイスシールド、防護服を着用しています)
- 患者様には外来時にチェックシートをご記入頂き、発熱のチェック、マスク着用、手指消毒をお願いしています。
- 歯科外来診察時にはポビドンヨード、あるいはリスステリンでうがいをお願いしています。
- 歯科用ユニットでは口腔外バキュームを必要に応じて作動させユニットサイドで吸気を行っています。

腎臓内科を開設しました



腎臓内科 教授 橋本達夫

略歴

1997年 横浜市立大学医学部卒
2003年 横浜市立大学大学院修了
医学博士

学会専門医等

一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医
難病指定医（腎臓内科・内科）
身体障害者福祉法第15条指定医

海軍カレーは減塩食？

この度、全身管理医歯学講座教授を拝命しました。内科学、なかでも腎臓・高血圧が専門です。内科外来、教育、研究で、多くの方々と共に、新しい医療の創生を目指して、建学の精神である「愛の精神」で取り組みます。

腎臓病の原因は糖尿病や高血圧などで、貧血、狭心症、骨粗しょう症を合併し、人工透析に至るリスクがあります。定期的な通院と、食事、睡眠、運動、そして血圧管理が大切です。血圧管理のポイントは減塩ですが、おいしいものは塩分が多いものです。横須賀名物のネイビーバーガーと海軍カレーの塩分はどのくらいでしょうか。どなたか教えてください。

腎臓内科では尿で塩分摂取量や脱水の有無も評価しています。どなたでもお気軽にご受診ください。あ～海軍カレーが食べたい！

地域連携室から

神奈川歯科大学附属病院では新たにスタッフを加えて地域連携業務を強化いたしました。スタッフを見える化し、他医療機関からのご紹介や患者様からのご相談、予約管理に対応させていただきます。

笑顔をもっとにスタッフ一丸となって皆様をサポートいたします。



後列左から 畠山 立、座間久美子、張替明美、小口孝子
前列左から 山本潤総師長、井野智病院長

〒 238-8570
横須賀市小川町 1-23
神奈川歯科大学附属病院 地域連携室
電話 046-822-8877
FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

